



いのはな亭 第9回庭園文化講座

「名月と日本人」

～紫式部から松尾芭蕉まで～

いのはな亭は、千葉市の歴史公園である亥鼻公園にあります。和室と日本庭園、茶店があり、豊かな緑につつまれながら、本市の歴史と文化にふれる機会を提供することが期待されています。

お月見はもともと中国の風習で、日本に入ってくると平安貴族は、船で宴を催し中秋の名月を楽しみました。そして紫式部は、近江の湖面に美しく映えていた中秋の名月に感動し、ある物語を書きだしたといわれています。江戸時代、松尾芭蕉もまた、「名月や 池をめぐりて…」と名月を愛でていたのです。

・開催日：9月19日（木）午後1時30分～3時30分

・開催場所：千葉市立郷土博物館 講座室

・講師：畝山順一

NPO 法人みどりのネットワーク千葉 副理事長

NPO 法人幕張海浜公園を育てる会 理事

・対象者：15歳以上

・会費：1,500円（お茶・和菓子付き）

（お茶と和菓子は講座の後、いのはな亭でどうぞ。）

・定員：40名（先着順）

・参加申込：株塚原緑地研究所

電話：043-279-8005 FAX：043-279-8142



※参加申込は、9月2日午前9時からです。

主催：株式会社塚原緑地研究所（亥鼻公園集会所指定管理者）

共催：千葉市立郷土博物館